

# 2008年3月期 決算説明会

2008年5月30日

本州化学工業株式会社

(証券コード: 4115)

# 目次

<b>I. 当社の特徴</b>	<b>3</b>
<b>II. 08／3期 実績</b>	<b>7</b>
<b>III. 09／3期 見通し</b>	<b>21</b>
<b>IV. 今後の経営戦略&lt;2008年度中期経営計画&gt;</b>	<b>30</b>

# I . 当社の特徴

# フェノール誘導品に特化

## 本州化学工業

石油化学  
メーカー

顧客

樹脂メーカー  
フォトレジストメーカー  
医薬品メーカー

フェノール  
メタパラクレゾール

フェノール誘導品  
(中間原料)

樹脂  
フォトレジスト  
医薬品

三井化学の関係会社として良好な関係

顧客から頼りにされる製品  
開発パートナーとしての関係

歴史的経緯と基盤技術の蓄積から  
フェノール誘導品の合成が得意

最終製品向けの中間原料を供給

「コア製品」を見出し、育成、強化・拡大を図っていく

## フェノール誘導品事業の展開

- 1914年11月 会社設立(由良精工合資会社)
- 1915年 2月 合成フェノールの製造開始
- 1961年 3月 ビスフェノールAの製造開始
- 1971年 1月 トリメチルフェノール(ビタミンE原料)の製造開始
- 1988年 4月 ビスフェノールA事業を旧・三井石油化学工業(株)に譲渡
- 1990年 6月 フォトレジスト材料の生産開始
- 1991年 3月 ビフェノールの製造開始
- 2004年12月 Hi-Bis社(特殊ビスフェノール)の営業開始
- 2008年 2月 ビスフェノールF製造設備増設

## コア製品

次の条件を満たす製品を**コア製品**と位置付け

- 成長する市場がある
- 独自技術が活用できる
- 世界において高いマーケットシェアを有している



- ◆ビフェノール(液晶ポリマー原料)
- ◆フォトレジスト材料
- ◆クレゾール誘導品(トリメチルフェノール等)
- ◆特殊ビスフェノール(高機能樹脂原料)

# 11.08 / 3期 実績

## 08／3期の事業環境

原材料価格高騰



米国での競合メーカーとの競争激化

半導体の需要伸び悩み

海外ユーザーでの在庫調整による需要減退

ビフェノール

フォトレジスト材料

クレゾール誘導品

特殊ビスフェノール

IT関連機器  
デジタル家電  
国内需要堅調

欧州向け:需要堅調  
中国向け:期後半より  
需要回復

## 08 / 3期コア製品の販売状況

部門	コア製品	販売状況
高機能樹脂原料	ビフェノール	国内：需要の伸長により販売は概ね堅調に推移 （売上高は前期に比べ増加） 輸出：競合他社との競争激化により不調
	特殊ビスフェノール	ユーザー側での在庫調整による需要減退により、バイエル社向け販売が不調
高機能化学品	フォトレジスト材料	半導体の需要低迷により、販売が伸び悩み
	クレゾール誘導品 （トリメチルフェノール）	欧州向け：好調を維持 中国向け：＜前半＞環境保全規制強化に対応したユーザーでの生産調整により減販 ＜後半＞需要回復により堅調な推移

## トピックス

### ★ビスフェノールF(特殊エポキシ樹脂材料)プラントの増強

〔目的〕 特殊エポキシ樹脂の需要拡大に対応するため

〔内容〕 08年2月 年間生産能力を2000トンから4000トンに倍増

#### ◆ビスフェノールFを用いた特殊エポキシ樹脂の用途等

<特長> 優れた加工性、金属接着性

<用途>

○ノンハロゲンタイプの難燃性積層板  
薄型テレビ、High-End携帯電話

○粉体塗料  
大口径の耐震性水道鋳鉄管内面コーティング  
(従来のモルタルコーティングの代替)

<需要> 環境・衛生ニーズに対応した製品として需要急増中

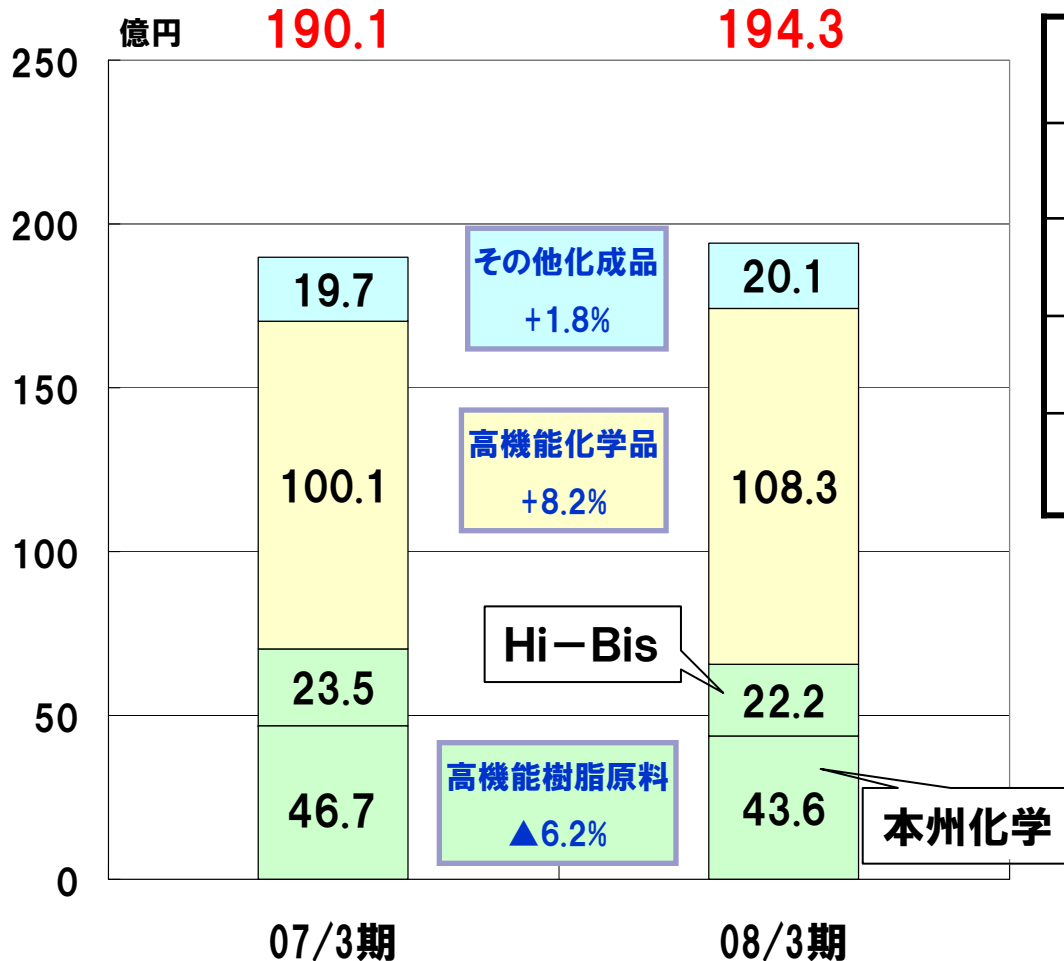


## 08／3期 連結業績概要

＜単位：百万円＞

	07／3期		08／3期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前期比
売上高	19,011		19,430		+2.2%
経常利益	1,943	10.2%	1,703	8.8%	▲12.4%
当期純利益	982	5.2%	767	3.9%	▲21.9%
1株あたり 当期純利益	85.48円		66.80円		

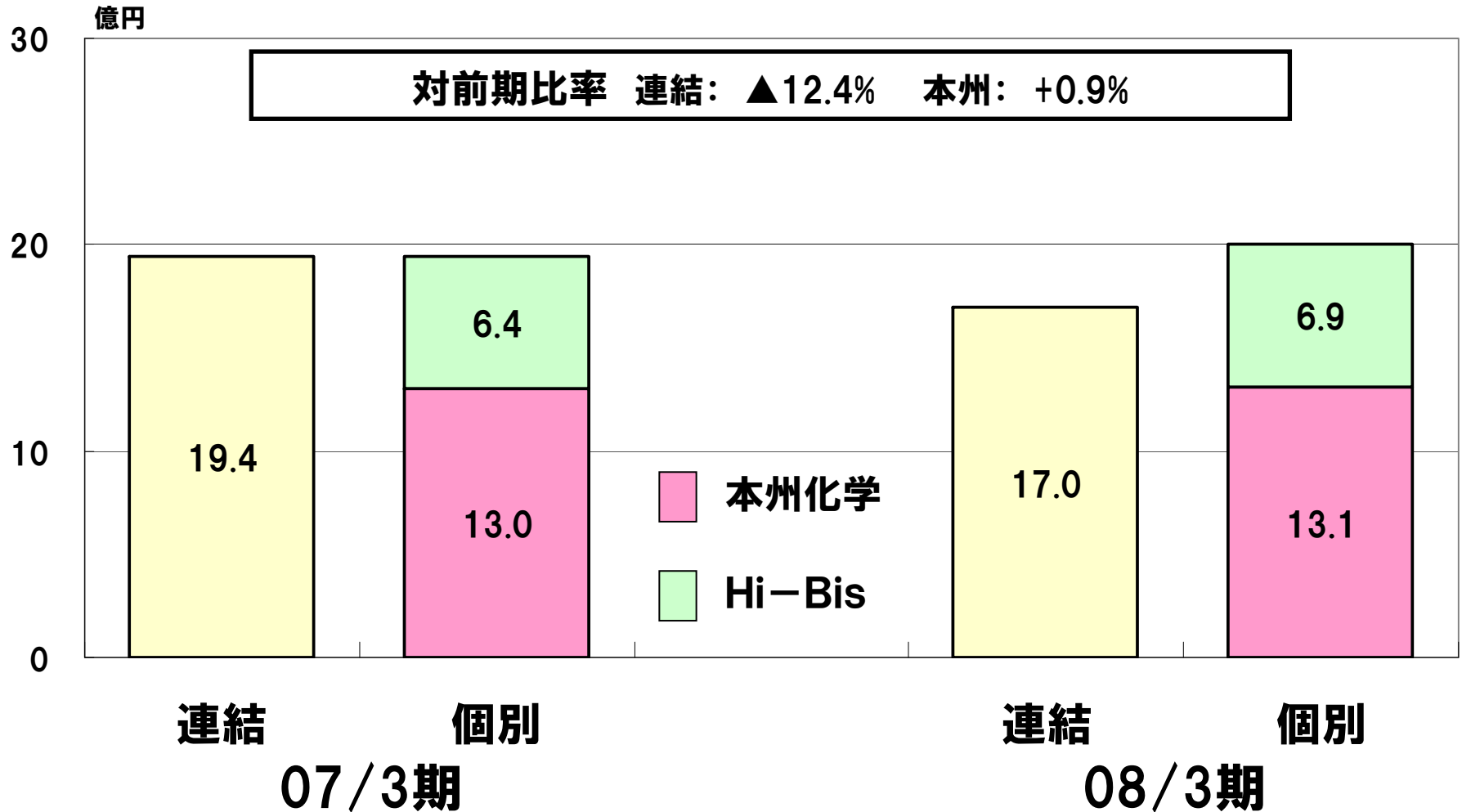
# 売上高(連結)



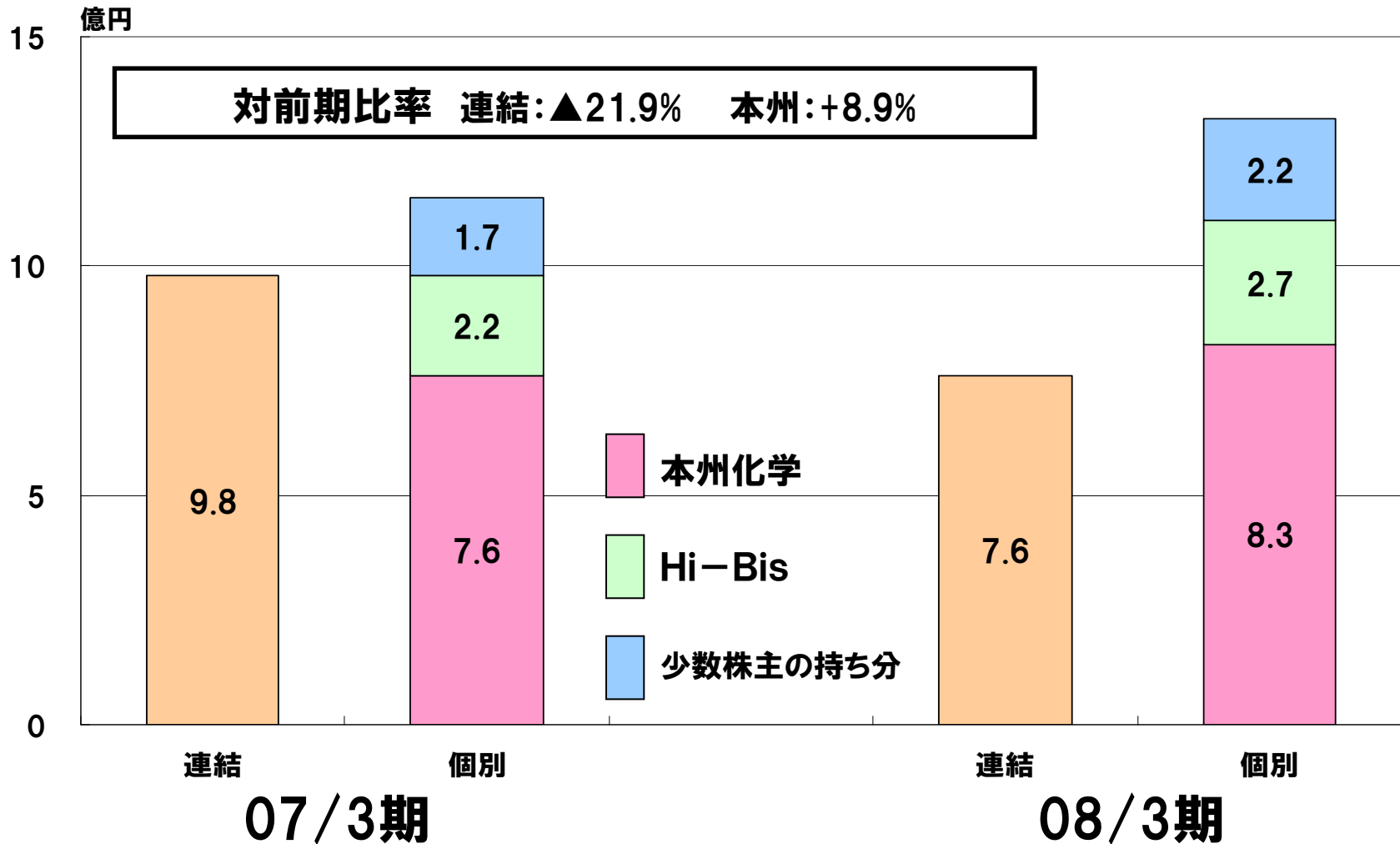
ビフェノール	→
特殊ビスフェノール	↘
フォトレジスト材料	→
クレゾール誘導品	↗

対前期比	+2.2%
変動要因	
価格差	8.0億円
数量差	▲3.8億円
合計	4.2億円

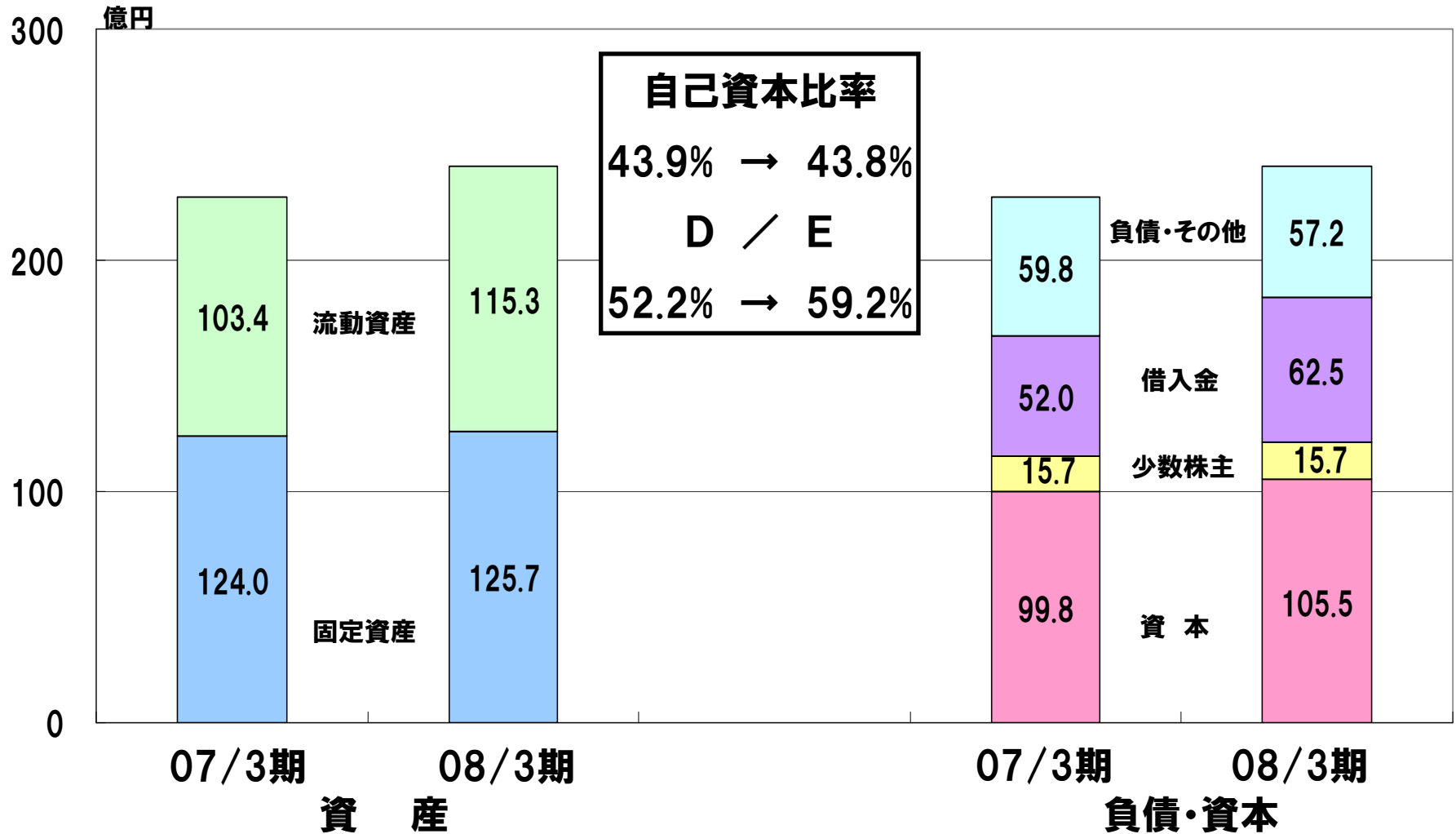
## 経常利益(連結)



# 純利益(連結)



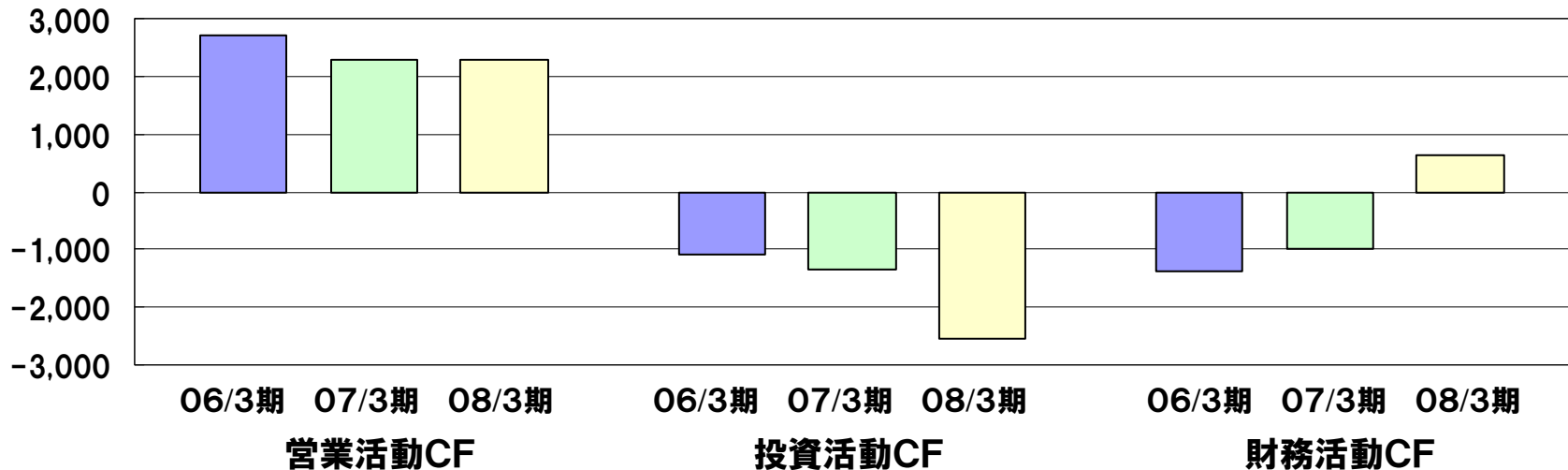
# 貸借対照表(連結)



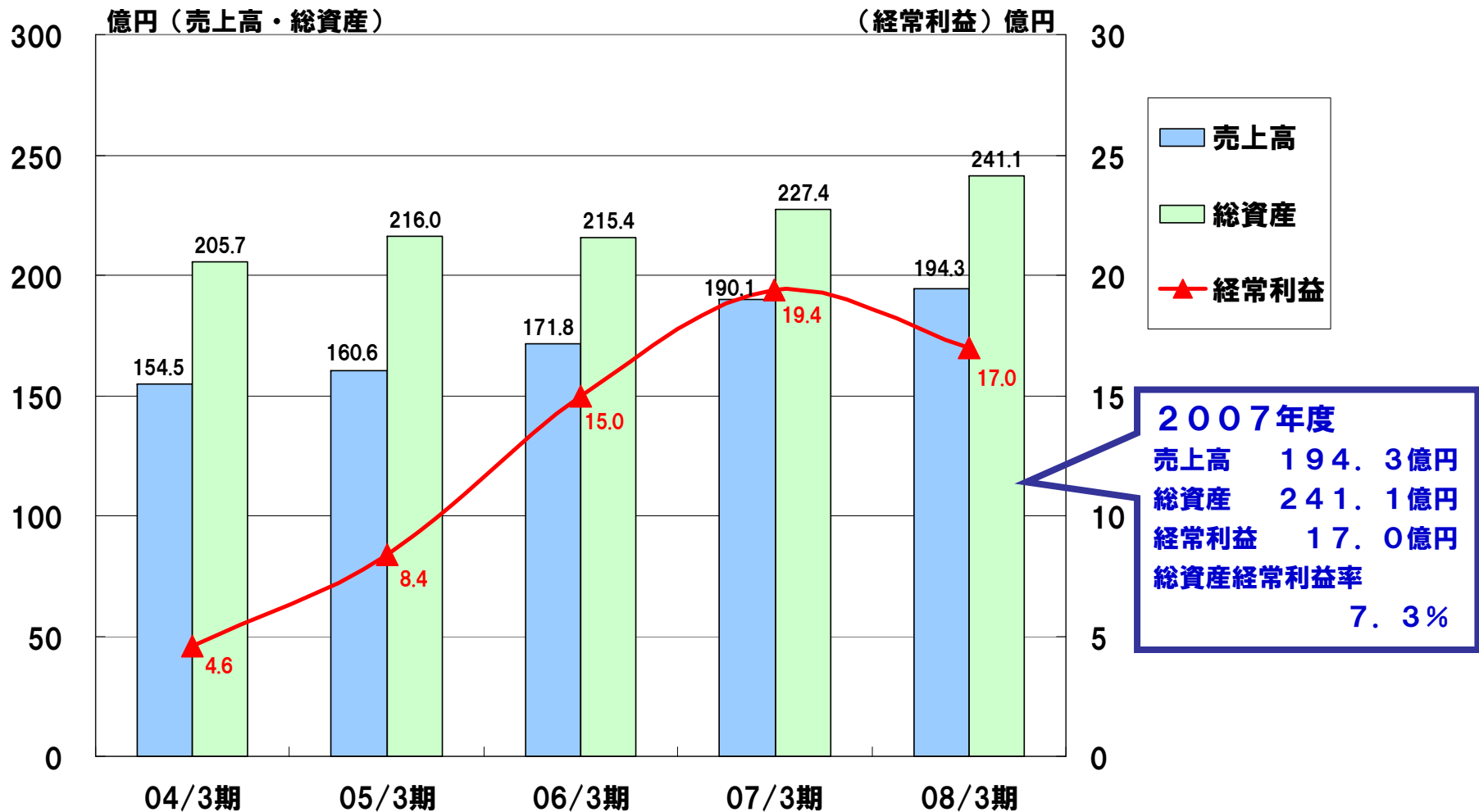
## キャッシュフロー(連結)

<単位:百万円>

項目	07/3期	08/3期
I. 営業活動によるキャッシュフロー	2,286	2,290
II. 投資活動によるキャッシュフロー	▲1,359	▲2,555
III. 財務活動によるキャッシュフロー	▲998	627

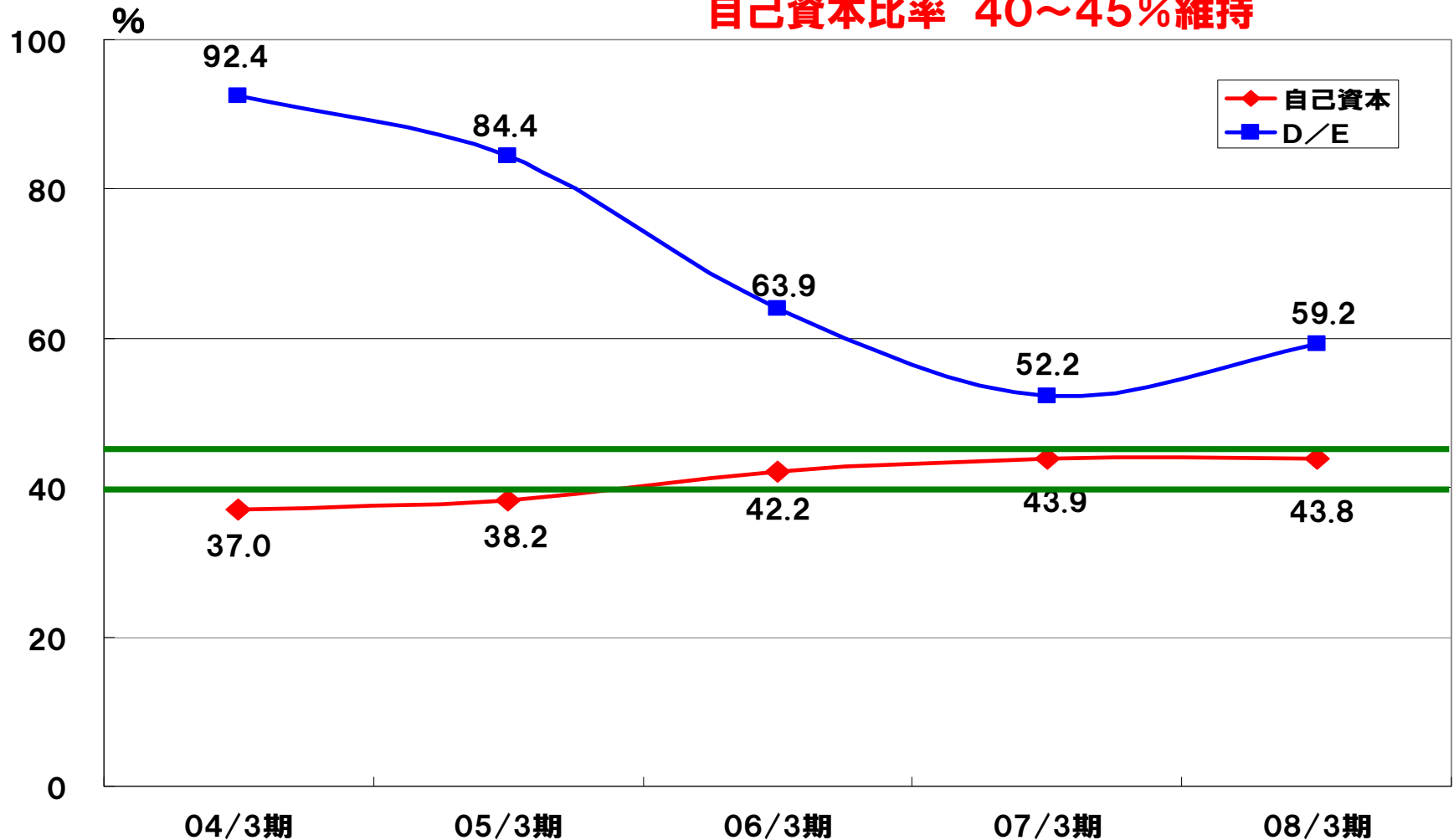


# 売上高・総資産・経常利益の推移（連結）

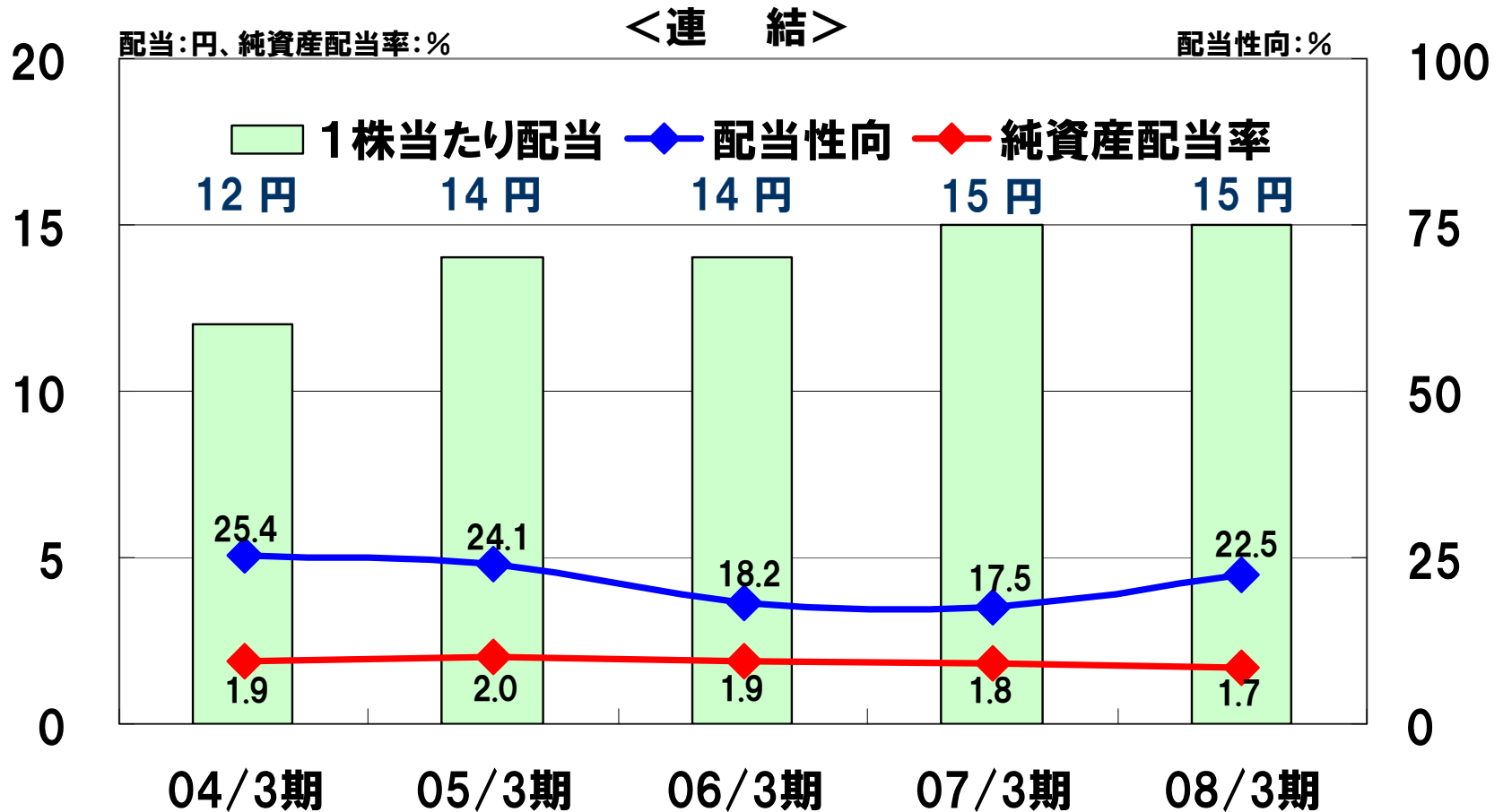


# 自己資本比率・D/Eの推移（連結）

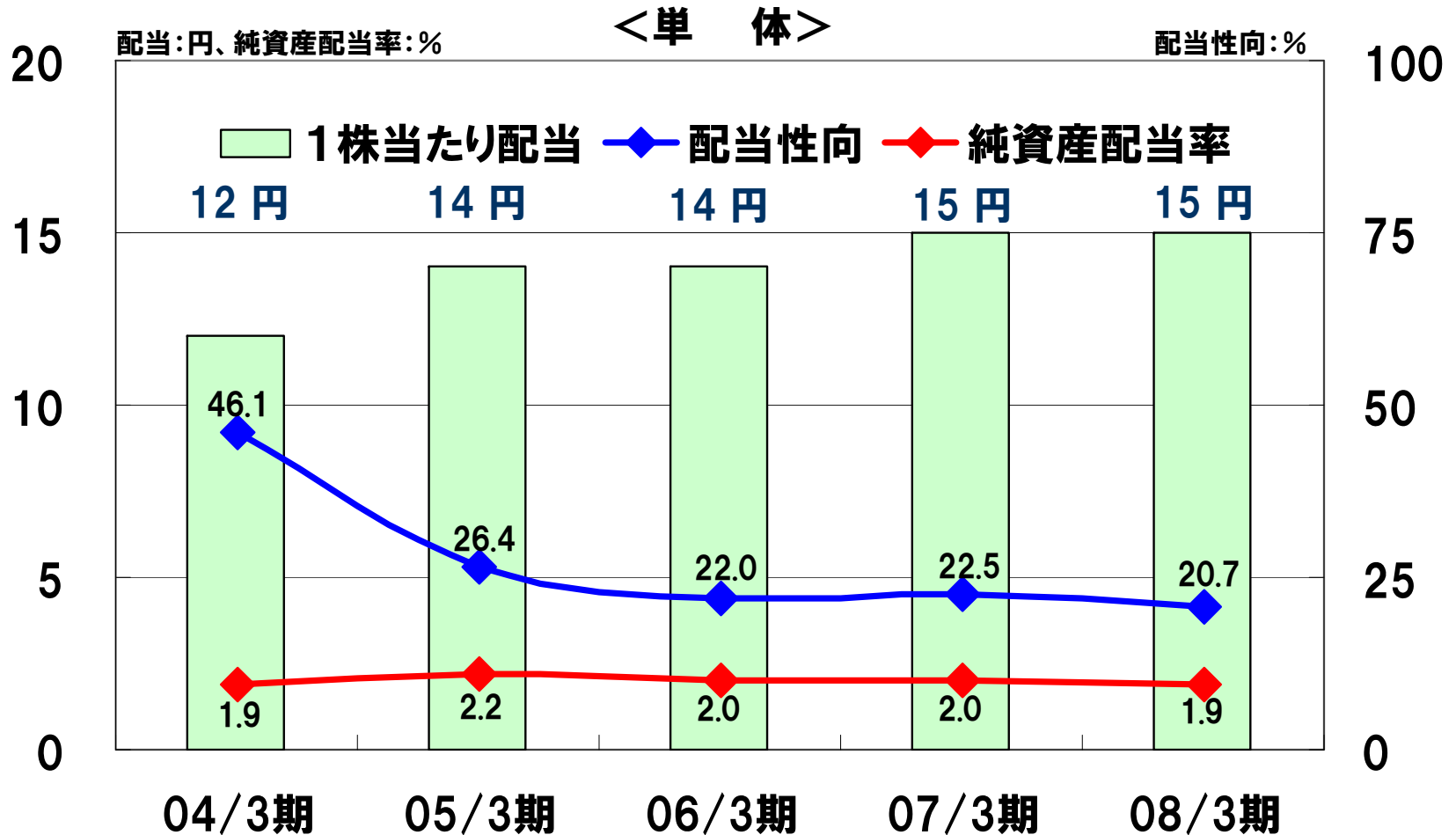
自己資本比率 40～45%維持



# 配 当 年間15円（中間6円／期末9円予定）



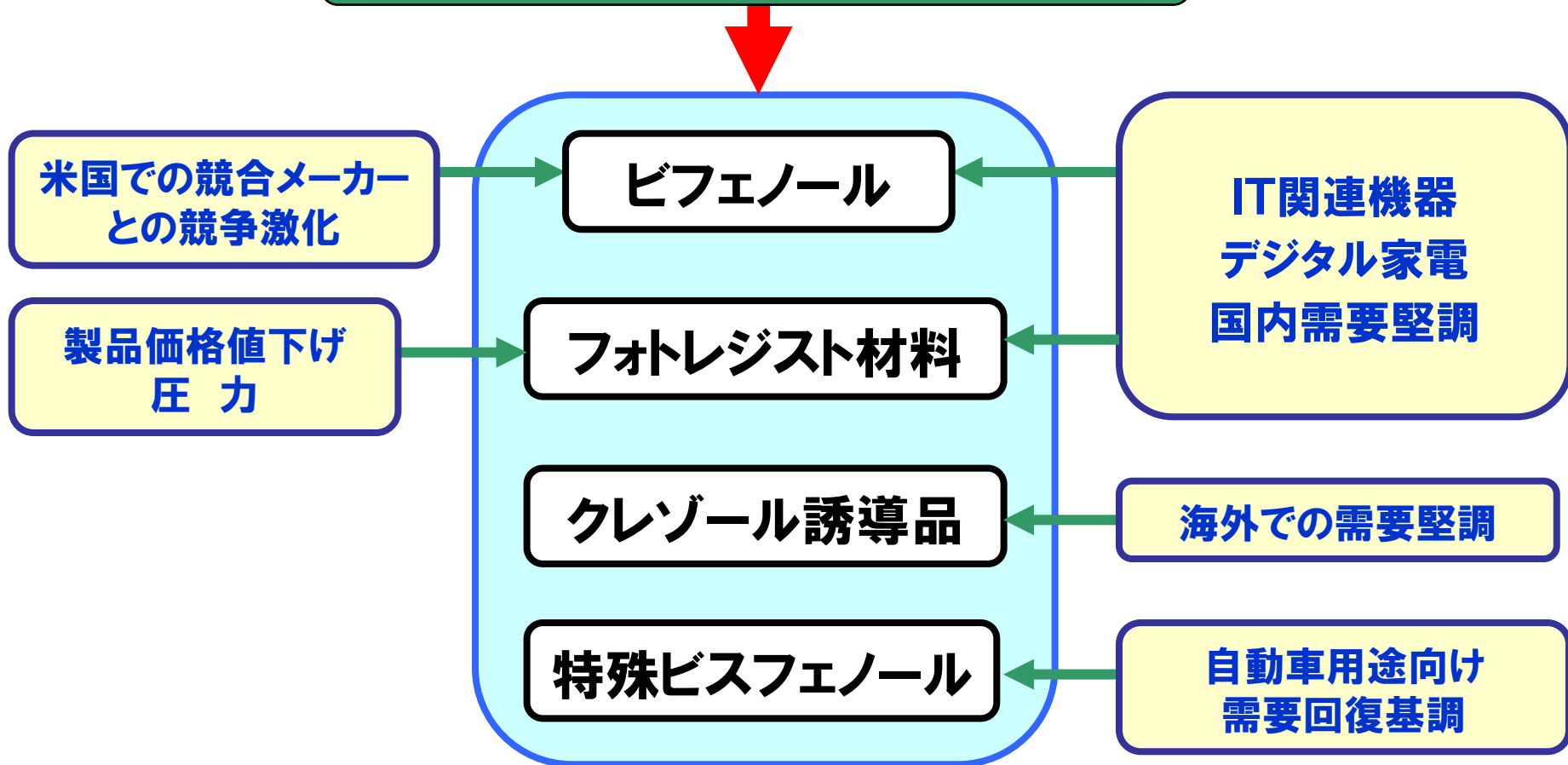
# 配 当 年間15円（中間6円／期末9円予定）



# III.09 / 3期 見通し

## 09 / 3期の事業環境見通し

原材料価格高騰

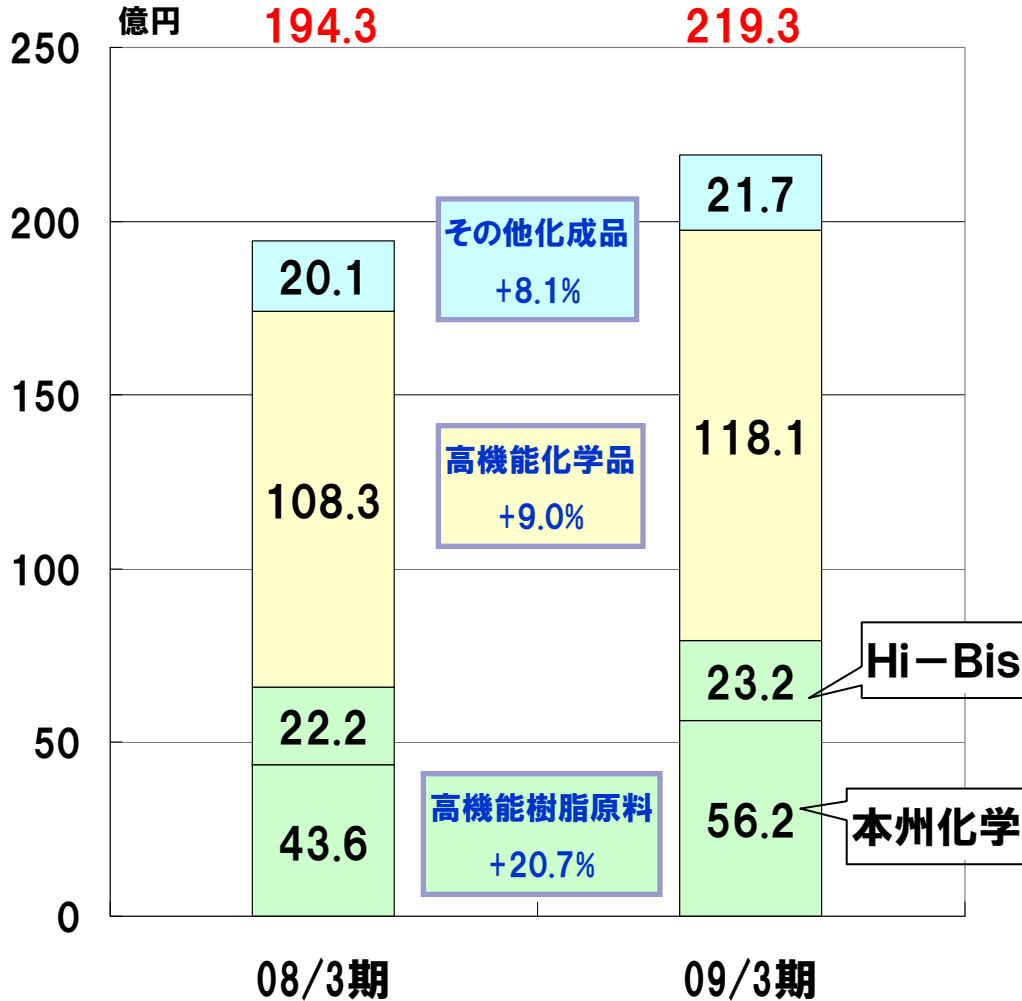


## 09／3期 通期業績見通し(連結)

＜単位:百万円＞

	08／3期		09／3期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前期比
売上高	19,430		21,930		+12.9%
経常利益	1,703	8.8%	1,800	8.2%	+5.7%
当期純利益	767	3.9%	930	4.2%	+21.2%
1株あたり 当期純利益	66.80円		80.97円		

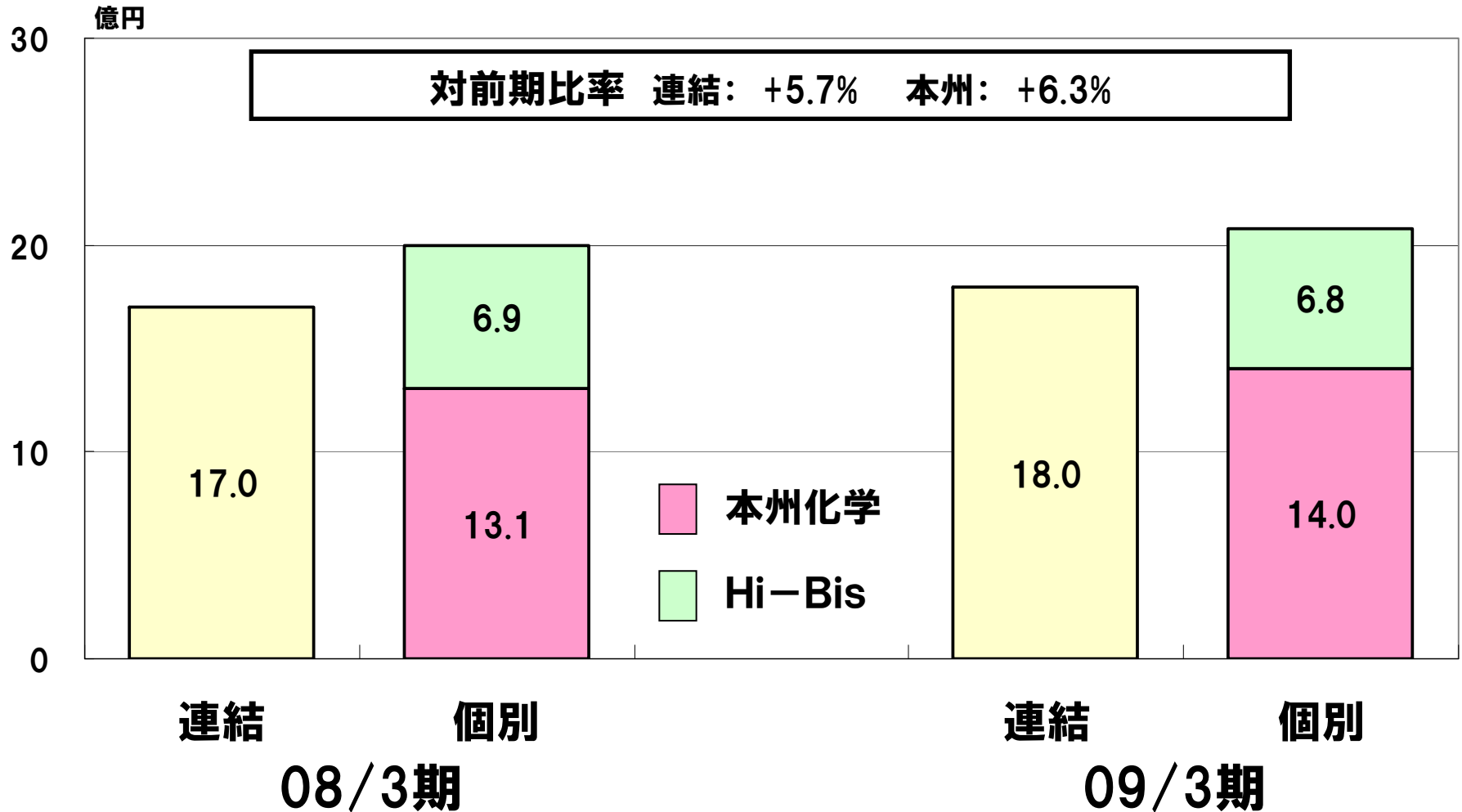
# 売上高(連結)



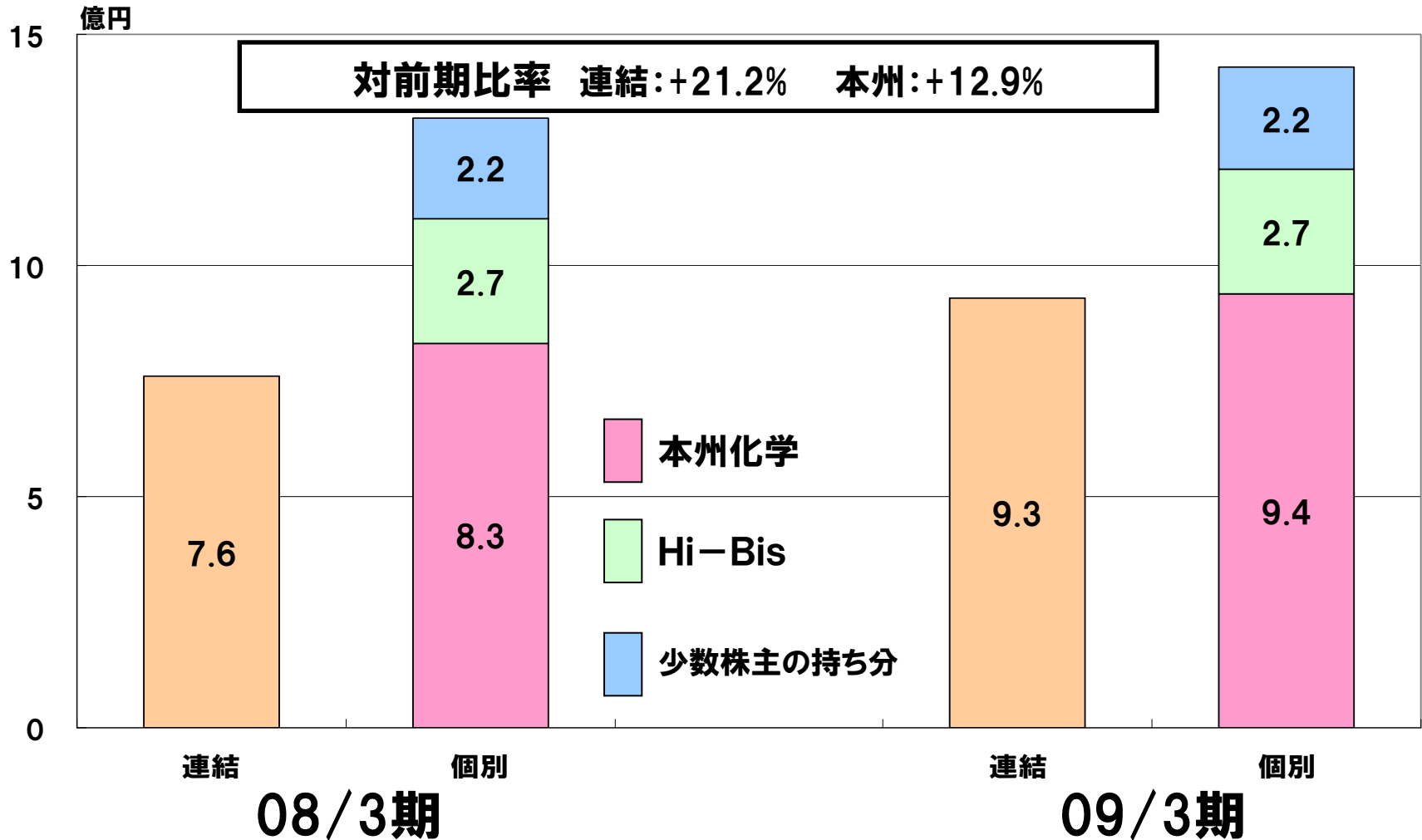
ビフェノール	→
特殊ビスフェノール	↗
フォトレジスト材料	→
クレゾール誘導品	↗

対前期比	+12.9%
変動要因	
価格差	9.4億円
数量差	15.6億円
合計	25.0億円

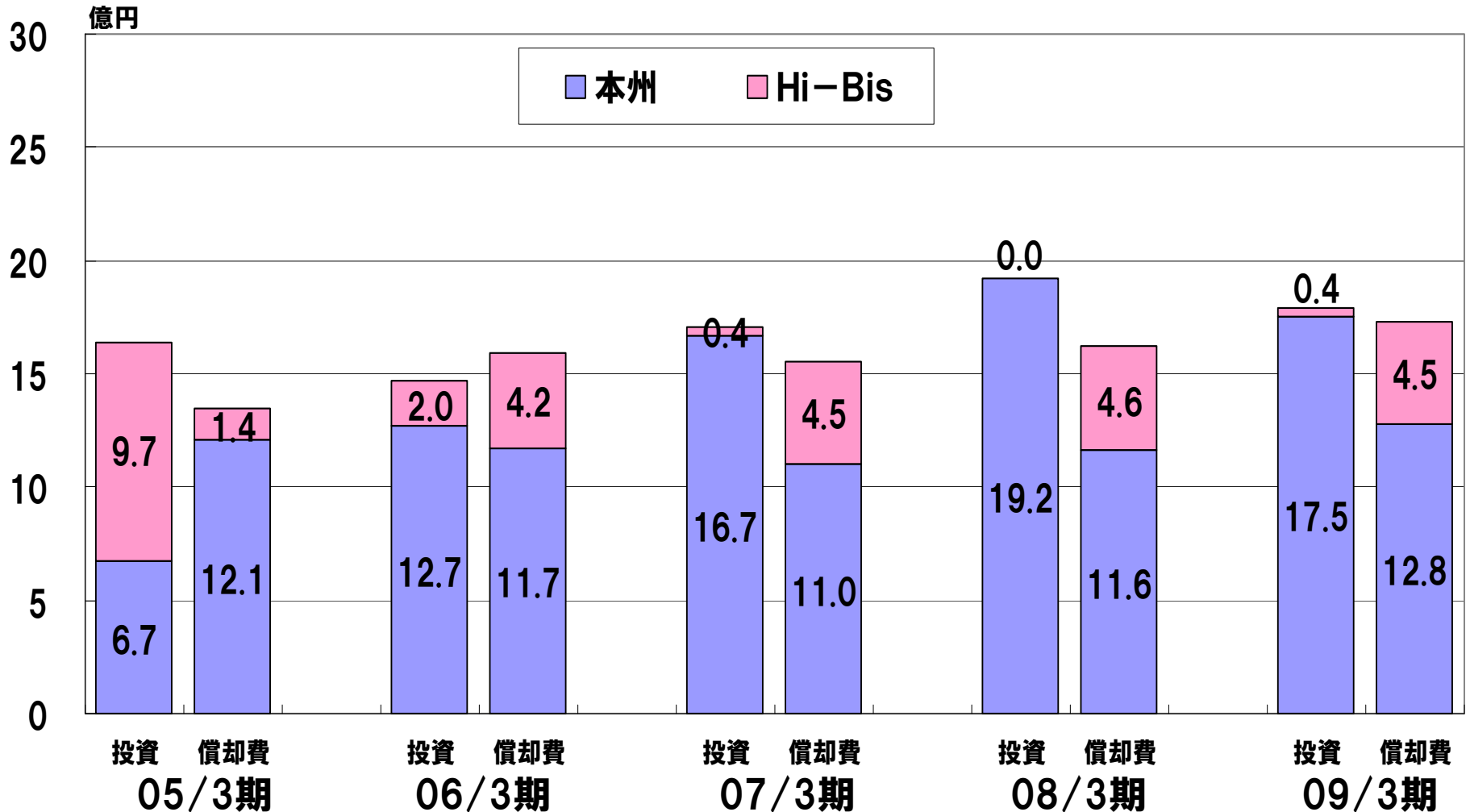
## 経常利益(連結)



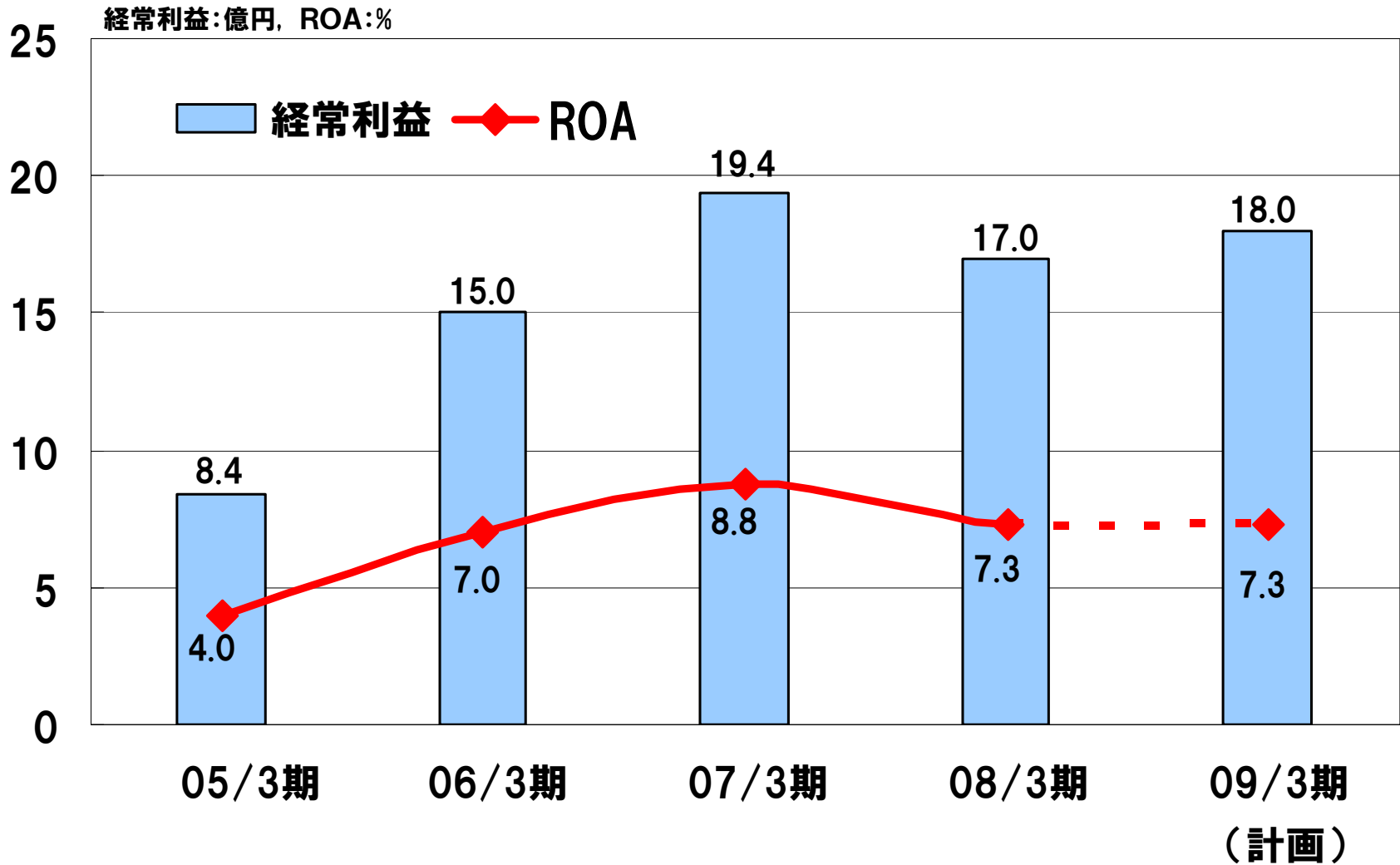
# 純利益(連結)



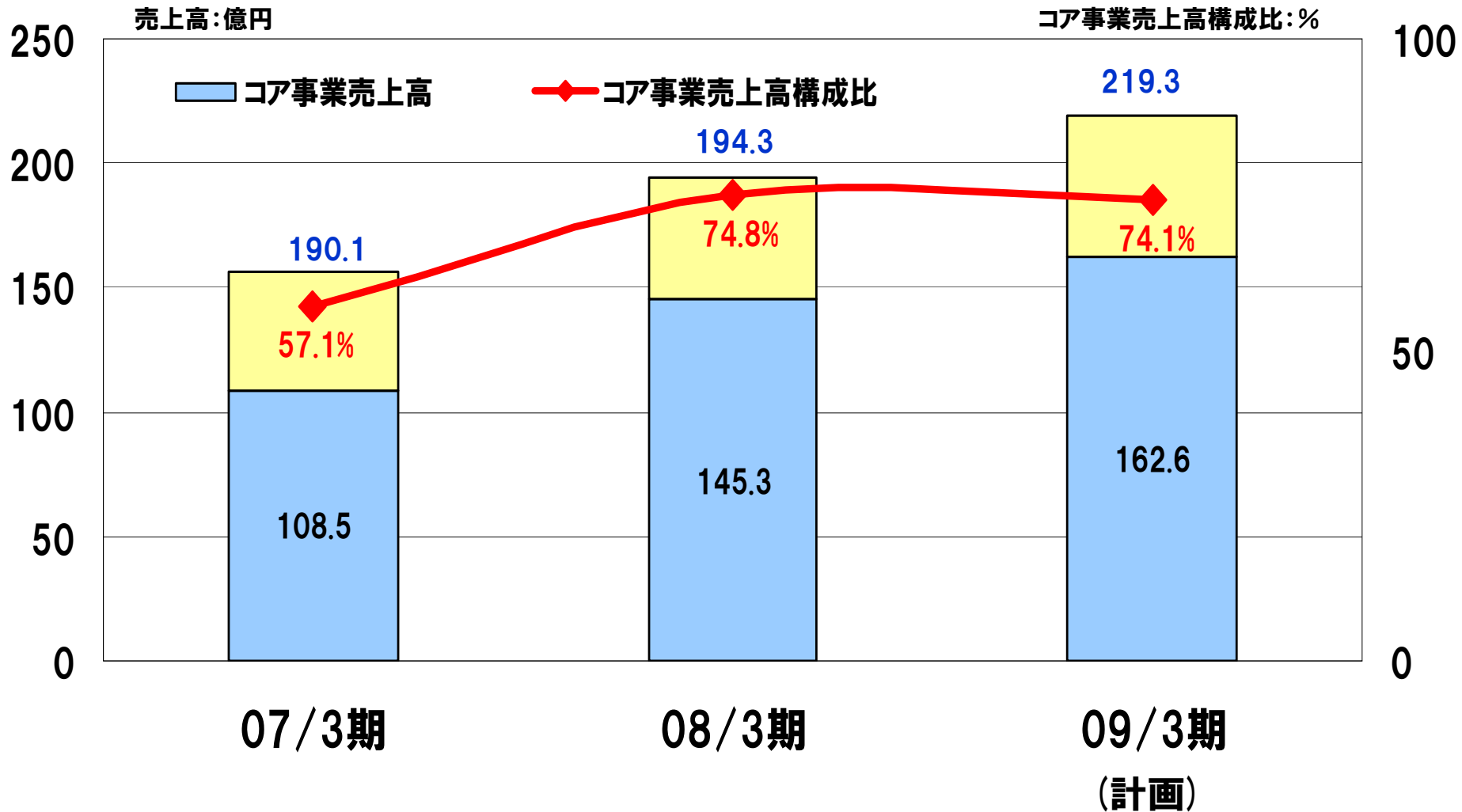
# 投資（連結）



## 計数目標（連結）



# コア製品の強化・拡大



# IV. 今後の経営戦略

## <2008年度中期経営計画>

# 経営戦略

＜2008年度(2008－2011年度)中期経営計画＞

## 経営ビジョン

### ➤ 経営理念

企業活動を通して、社会の持続的発展、国民生活の福祉増進に貢献するとともに、お客様、従業員、株主および地域社会から真に信頼される存在であり続ける。

### ➤ 目指すべき企業像

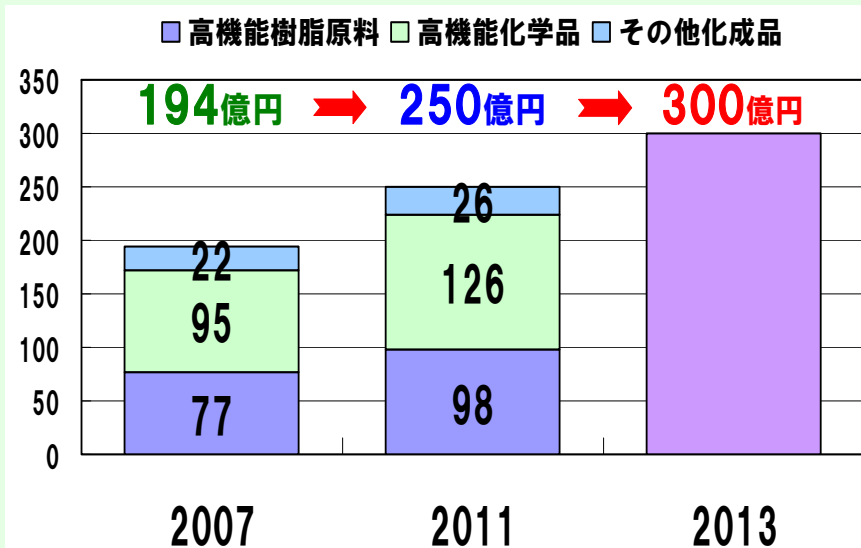
独自のフェノール誘導品合成技術をもとに他社が真似の出来ない製品を創出し、最高のサービスにより提供するグローバル・ファインケミカル・スペシャリスト

## 経営方針

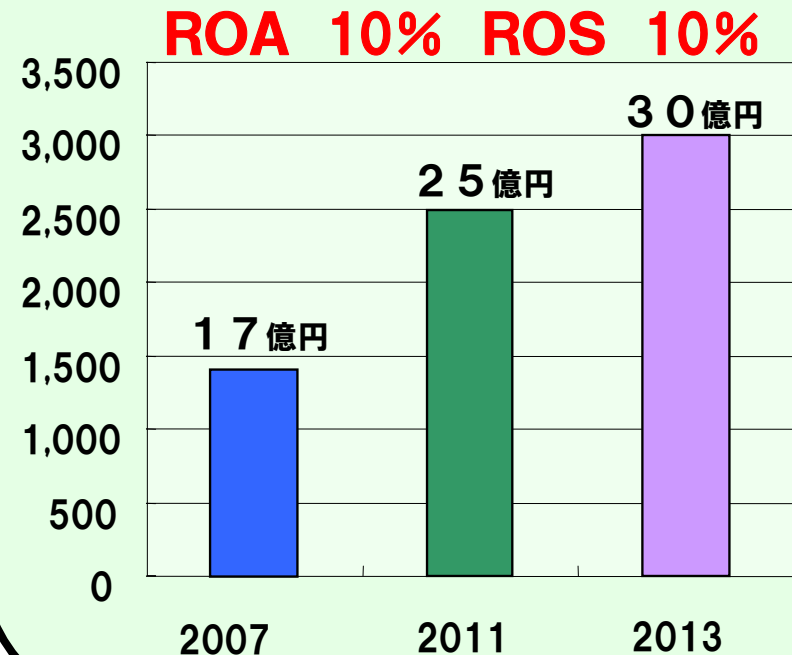
1. 法令および社会的規範を順守し、健全な企業活動を行う。
2. グローバルニッチなファインケミカル分野に事業領域を拡大する。
3. 独自技術を開発・駆使し、市場ニーズに的確に応える製品を創出する。
4. 安全優先、5S維持を徹底し、生産・現場力の強化を図る。
5. 確実にPDCAサイクルをまわし、業務効率の向上、品質管理の徹底、コストダウンに努める。
6. 『成長と自立』を目指すため、人材育成を促進する。

## 経営目標（計数計画）

### 売上高



### 経常利益



2013年(創立100周年)売上高300億円に向けて成長を図る

# 事業戦略

## 既存コア事業の強化・拡大

### 1. ビフェノール

プラント合理化による競争力強化および成長需要の取り込み

### 2. フォトレジスト材料

i 線事業の堅持および次世代(EUV)向け技術の開発

### 3. クレゾール誘導品

川下展開強化および成長需要の取り込みによるリーディングカンパニーとしての地位堅持

### 4. 特殊ビスフェノール

品揃え体制の構築による新規顧客開拓および用途開発による業容の拡大

# 事業戦略

## 次期コア候補の育成・強化

### 1. ビスフェノールF

2008年2月 増強工事完工  
(2,000t/年 → 4,000t/年)

### 2. 感光性ポリイミド材料

拡大する需要の取り込み

### 3. 精BHT

2008年6月 製造設備新設工事完工  
2009年1月 事業開始※

※(株)エーピーアイコーポレーションより事業譲受け

## 新規事業の創出

高機能ポリマー原料の開発  
高機能イミド原料  
高機能エポキシ樹脂原料 など

研究開発資源の投入拡大

# 事業ポートフォリオの変革

